桐生市水道事業水道料金システム更新業務

水道料金システム機能要件一覧表

回答記入例
「回答」欄に、提案パッケージの標準機能で要件に対応できる場合は「〇」 カスタマイズの場合は「△」 対応不可の場合は「×」を記入すること。
カスタマイズ、対応不可の場合には備考欄に概略を記入すること。

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目		内　　容		回答欄	
				回答	備考
システム共通事項					
1	導入システム	①	大量印刷処理等の電算処理受託対応を可能とし、納入会社のデータセンターにて処理が可能であること。		
		②	上水道、下水道の統合システムであること。なお、下水道（農集排）のみの使用者管理も可能であること。		
		③	複数の料金体系を管理できること、また料金改定を実施した時にも、旧料金体系が複数管理できること。		
		④	メニュー画面は階層型で表示でき、職員ごとに実行可能な処理の登録を制限可能であること。		
		⑤	複数台の端末からの同時に入力が可能なシステムであること。		
		⑥	マルチタスクに対応し、複数画面を同時に起動・処理が可能なこと。		
		⑦	届書レイアウトや帳票レイアウトは雛型サンプルが用意されており軽微な修正で使用可能であること。		
		⑧	導入後でも、必要に応じて機能を拡張（アドオン）することが可能であること。		
		⑨	自社の保有する他システムとのデータ連携に対応できること。 水道料金システム保有のデータを、いつでも抽出することが可能で提供できる機能を有すること。		
		⑩	下水道課、工務課用のメニュー画面等を用意すること。		
		⑪	将来的にeLTAXの対応（水道料金システムの機能改修、運用テスト等）が可能なこと。		
		⑫	ソフト、機器に関する保守料を見積もること。（5年間）		
2	セキュリティ	①	パスワード等によるユーザー認証を利用し、ユーザー毎のアクセス制御・制限が可能であること。		
		②	パスワード認証時の成否がログに記録され管理者が確認できること。		
		③	パスワードの有効期限や有効期間の管理が行えること。		
		④	パスワードの有効期限が過ぎている場合は期限切れのメッセージを表示し、パスワード変更を行ってからシステムの利用が可能なこと。		
		⑤	パスワードの管理は、ユーザー自身で変更が可能であり、変更のログ、前使用パスワードの使用禁止などの管理が可能なこと。		
		⑥	検索情報の表示画面ごとに表示権限の管理を行うことができ、ユーザー毎に表示可能な画面の制御ができること。		
		⑦	異動・変更処理の処理ごとに処理権限の管理を行うことができ、ユーザー毎に処理可能な権限の制御ができること。		
		⑧	ユーザーに処理権限のない処理に関しては、メニューの非表示や選択不可の制御がおこなわれていること。		
		⑨	個人毎の操作履歴（アクセスログ・更新ログ）の採取が可能であること。		
		⑩	データの暗号化・不正アクセス防止策・コンピュータウィルス対策他の万全なセキュリティ対策が施されていること。		
		⑪	検針用ハンディーターミナルについてもデータの暗号化・不正アクセス防止策他の万全なセキュリティ対策が施されていること。		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項目		内容		回答欄	
				回答	備考
3	ユーザインターフェース	①	ＧＵＩ（グラフィカル･ユーザ･インターフェース）であること。 ただし、マウスだけでなく、ファンクションキーでも操作が可能であること。		
		②	文字入力時は、入力項目により日本語(漢字･ｶﾅ)･数字･英字等の文字モードの自動制御が可能であること。		
		③	コード入力時は、ドロップダウン、HELP画面等の入力補助機能を有していること。 また、マウス操作やファンクションキー等、操作方法が容易であること。		
		④	外字については、現在使用している外字一覧表より新システムの仕様の文字に変換すること。		
		⑤	必須入力項目と任意入力項目の識別が可能であること。		
		⑥	入力した項目間で矛盾が発生しないよう、チェック機能を有していること。		
		⑦	日付は、カレンダーから選択可能であり、休日（祝日や年始･年末休も含む）と平日を色等で識別可能な機能を有していること。		
		⑧	検索処理において、複数の別水栓の情報画面の表示が可能なこと。		
		⑨	ワンクリック等簡単な操作で画面のハードコピーを出力することができ、出力したログをデータベースに記録していること。		
		⑩	各画面のハードコピーのログが残り、ログ検索機能にて、”誰”が”いつ”、”どの画面”のハードコピーをとったかが管理できること。		
		⑪	出力したハードコピーには、出力日時･ユーザー名･端末名の印字がされており、出力されたハードコピーだけで特定が可能なこと。		
4	ＥＵＣ機能	①	必要に応じて任意に選択したデータをCSV形式･ＰＤＦ形式等、外部加工できる形式での出力が可能であること。		
			（1)抽出項目（水栓情報） お客様番号,水栓マスタ区分,水栓受付番号,下水道番号,設備番号,台帳番号,行政区,所在地大字コード,所在地本番,所在地枝番,所在地小枝番,住宅コード,部屋棟,部屋号,所在地漢字方書,上下水区分,受水槽有無,受水槽量,受水槽番号,集金員コード,検針員コード,隔月区分,処理区分,検針済,検針該当,調定該当,配水系統,配水区分,頁,縦,横,認定サイン,認定量,係数サイン,係数,下水認定サイン,下水認定量,下水係数サイン,下水係数,下水供用開始日,集合サイン,集合世帯数,井戸サイン,一般法人区分,止水区分,水栓特記事項,編集後所在地,編集後所在地方書など		
			(２)抽出項目（メーター情報） 冊番,順路本番,順路枝番,管理図番号,本管番号,親子メーター区分,親水栓お客様番号,メーター状態,メーター有無,メーター会社,メーター型式,計量器コード,口径,メーター番号,メーター設置年月日,メーター有効期限,メーター桁数,メーター位置イ,メーター位置ロ,メーター位置ハ,メーター交換サイン,メーター交換回数,メーター交換事由,旧メーター会社,旧メーター型式,旧計量器コード,旧口径,旧メーター番号,交換までの使用量,旧メーター取外指針,新メーター取付指針,交換年月日,交換業者,新設年月日,新設指針,新設工事店,新開年月日,新開指針,新開工事店,メーター撤去年月日,メーター撤去指針,メーター撤去工事店,施設撤去年月日,施設撤去指針,施設撤去工事店,前回指針,最新指針,前回検針日,最新検針日,工事店コード,下水工事店コードなど		
			(３)抽出項目（使用者情報） 使用者マスタ区分,使用者番号,開始受付年月日,開始年月日,開始指針,開始工事店,休止受付年月日,休止精算予定日,休止精算予定時間,休止精算場所,休止精算方法,休止年月日,休止指針,休止工事店,下水開始年月日,下水開始指針,下水開始工事店,下水休止年月日,下水休止指針,下水休止工事店,停水執行年月日,停水解除年月日,上水計算方法,下水計算方法,上水月数,下水月数,上水用途,下水用途,統計用用途,送付保留,井戸世帯人数,未納事由,使用者特記事項,使用者枝番など		
			(４)抽出項目（支払情報） 支払区分,郵送コード,納付組合,新規変更開始年月,新規変更区分,銀行番号,支店番号,預貯金種目,口座番号,カナ名義人,漢字名義人,所有者漢字氏名,所有者カナ氏名,所有者編集後住所,所有者編集後方書,所有者郵便番号,所有者電話番号,所有者電話区分,使用者漢字氏名,使用者カナ氏名,使用者編集後住所,使用者編集後方書,使用者郵便番号,使用者電話番号,使用者電話区分,送付先漢字氏名,送付先カナ氏名,送付先編集後住所,送付先編集後方書,送付先郵便番号,送付先電話番号,送付先電話区分など		
		②	データ抽出時には抽出条件やソート順の指定が可能になっていること。		
			（１）抽出条件 水栓マスタ区分（使用中･休止中･全件）、お客様番号、所在地大字、上下水区分、隔月区分、冊番、口径、上水用途、下水用途、支払区分（範囲指定） この他にも、任意に150項目ほどの条件設定が可能なこと。		
			(２)抽出順 所在地大字ｺｰﾄﾞ、上下水区分、隔月区分、冊番、口径、上水用途、下水用途、支払区分 この他にも、任意に150項目ほどの条件設定が可能なこと。		
		③	データ抽出時にはデータの利用目的を入力することができ、抽出条件･抽出件数と同様にログとして記録されること。また、登録されたログから抽出条件の再利用も可能なこと。		
		④	検索結果をCSVで抽出する際の項目を導入時に任意に設定調整が可能なこと。また、抽出時の項目を自由選択できることが可能なこと。		
		⑤	ＥＵＣ機能の利用は、ユーザーごとに利用権限の管理が可能なこと。		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項目		内容		回答欄	
				回答	備考
5	帳票印刷	①	出力する帳票類は環境保護に考慮し、プレビュー表示ができ拡大、縮小、プリンタ切替、ページ指定印刷が可能なこと。また、電子帳票（ＰＤＦ形式）としても任意に保存・閲覧・印刷する機能を有すること。		
		②	全ての帳票で、帳票に出力している出力項目を、ＣＳＶ形式のファイルに変換して出力することが可能なこと。		
		③	全ての帳票を再発行や出力内容の確認がいつでも出来る様に、出力当時のイメージファイルとしてバックアップ保管することが可能であること。		
		④	専用用紙を除き、出力する帳票類は全てＡ４版又はＡ３版へのオーバレイ印刷方式とすること。 また、両面印刷が可能なこと。		
		⑤	公印の印影登録ができ、公文書への印影印刷が可能であること。		
		⑥	納付書・督促状等でまとめて印刷するときはナンバーリング出来ること。		
		⑦	帳票については複数の事業体単位でも発行できること。		
		⑧	パソコン側で処理される全ての帳票に関して、印刷・CSV・PDFへの出力が可能なこと。		
		⑨	発行するはがきタイプの用紙には、カスタマバーコードを印字すること。 （納付書・督促状・メーター交換のお知らせ等）		
		⑩	出力されたすべての帳票の出力履歴が管理されていること。		
		⑪	出力帳票の履歴管理から過去の帳票を再出力が可能なこと。（紛失などの場合に、再出力により内容の確認が行えること。個人情報管理などの目的も含む。）		
		⑫	通知書は本市指定のレイアウトに対応すること。決裁欄の変更などの軽微な修正は無償で行うこと。		
6	運用管理	①	操作マニュアルは、使用者の立場に立ち、理解し易くかつ活用し易いものを作成し、電子マニュアルでシステム稼動時に納入すること。		
		②	操作マニュアルは操作画面からでも閲覧する事が可能であること。		
		③	入力項目は必要に応じてヘルプ機能を有すること。		
		④	バッチ処理・帳票出力・異動処理などの処理結果は正常・異常に関わらずログとして記録され、システムの画面から確認できること。		
		⑤	システム運用サポートの遠隔支援が可能であること。また、当市の要請により訪問による支援も行なえること。トラブル発生時に当日中の訪問・対応が可能であること。		
		⑥	システム維持管理保守として、ハード稼動状況、障害状況、バックアップ状況の検証などサーバ及びデータチェック等の定期点検チェックを毎月行うこと。		
		⑦	データバックアップは、自動処理とし、テープ交換の必要がないように工夫がされていること。また、平常の業務に影響を及ぼさないこと。また、災害対策としてバックアップしたデータは上下水道局以外の外部施設にて保管を委託することができること。		
7	データ移行	①	既存の水道料金システムのデータ項目は、本システム更新に必要なデータ（メモ情報を含む）を全てコンバートし、稼動時には情報の不足がないこと。		
		②	外字等の対応については、提供された変換テーブルを基に充分な対応を行なうこと。		
		③	現行のバーコード情報、口座依頼データ自由欄情報の解析を行い、システム切替時に不具合なく対応が行えること。		
		④	データ移行において、作業者は水道業務及び水道用語に理解があり、確認作業において職員への負荷を極力減らす体制で行うこと。		
		⑤	現行システムからのデータ提供方法及び内容については現行ベンダーと調整のうえ、実施すること。 （テスト用データ及び最終移行用データの回数、提供時期、提供データ内容等）		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目			内　　容	回答欄	
				回答	備考
オンライン処理					
1	メニュー	①	パスワード等を入力することにより、システムメニューが展開されること。		
		②	メニューにパスワードの有効期限や前回変更日が表示されていて、有効期限が切れる前にパスワードの変更が可能なこと。		
		③	システムが保有しているデータより日々の水栓件数（開閉栓状態の件数）等、口座普及率、収納率が容易に画面上で確認できること。また、調定締め現在の情報表示も可能なこと。		
		④	業務スケジュールやイベントを確認できるカレンダー機能を有していること。また、業務予定の入力や完了報告の入力も可能なこと。		
		⑤	当日の開閉栓予定者や、支払誓約者・訪問予定者などの情報を一覧表示画面から確認できること。		
		⑥	本日入力されたメモ情報や滞納者との交渉記録を一覧画面から確認できること。		
		⑦	上記の一覧画面から容易に該当者の照会画面に展開できること。		
		⑧	本日受付した開閉栓の件数や、納付書の再発行件数、異動・変更処理の入力件数が確認できること。		
		⑨	それぞれの処理の途中でも別の処理画面を表示し対応が可能なこと（複数画面表示）。たとえば、異動処理入力中の検索などが出来ること。		
		⑩	起動時に入力する個人コードとパスワードにより、利用者ごとに設定したマイメニュー（処理のお気に入り登録）を使用することができる。		
2	検索条件	①	検索条件は、お客様番号・使用者氏名・所在地・金融機関・メーター番号・電話番号（2件）方書き等多様な条件指定が可能であること。検索結果項目は検索条件に対応して表示順が変わること。		
		②	上記の通常使用する検索条件以外に、請求先の氏名や交換前のメーター番号、調定金額などを検索条件とし該当の抽出が可能であること。		
		③	使用者氏名（所有者）からの検索については、部分一致条件の設定やカナ氏名検索機能があること。		
		④	調定年月と請求金額及び完納・未納・過誤の条件設定からの検索が可能であり、検索結果の一覧表示と照会画面との切替が容易にできること。		
		⑤	使用者氏名（所有者）からの検索については、部分一致条件の設定や氏名漢字検索機能があること。		
		⑥	全てのカナ文字の検索については、部分一致条件の設定や、ジ＝ヂ、ズ＝ヅなどのあいまい検索機能があること。また、濁音・半濁音・超音符を除外した検索が可能であること。		
		⑦	水栓・メーター・使用者・支払情報に関連する項目からの、複合検索機能を有すること。		
			（１）検索条件 お客様番号,メーター番号,口径,上下水区分,上水用途,下水用途,統計用用途,カナ氏名,台帳番号,排水系統,下水認定サイン,水栓マスタ区分,所在地大字コード,所在地本番,所在地枝番,メーター有効期限,受水槽有無など		
		⑧	調定年月と請求金額および完納・未納・過誤の条件設定からの検索が可能であり、検索結果の一覧表示と照会画面との切替が容易に出来ること。		
			（１）検索条件 調定年月,定時随時区分,お客様番号,検針日,検針員コード,上水使用量,排水量,上水料金,下水料金,支払区分,上水月数,下水月数,上水用途,下水用途,統計用用途,口径,上下水区分,請求済,推定区分,漏水区分,上水最終入金日,下水最終入金日,完納サイン,未納サイン,還付対象など		
		⑥	メモ内容を条件に検索が可能であり、検索結果の一覧表示と照会画面との切替が容易に出来ること。		
			（１）検索条件 区分,入力日（範囲指定）,内容,入力者		
		⑩	簡単な切り替え操作で最新の水栓使用者のみを検索できること。		
		⑪	検索結果の一覧表示よりＣＳＶデータの作成が可能であること。		
		⑫	検索結果一覧では項目ごとに並び順（昇順・降順）を変更できること。		
		⑬	検索結果一覧と使用者情報画面を行き来できること。		
		⑭	最新使用者と過去使用者（使用者履歴）が検索結果にて区別可能であること。		
		⑮	直近に実施した検索結果（検索履歴）を最低３０件以上管理できること。		
3	検索・照会処理	①	水栓・メーター・使用者・請求・調定・収納・異動履歴・下水道情報、給水管理情報、メモ入力情報の各情報に関して下記の情報照会が可能であること。		
			(1) 水栓情報 ・お客様番号　・水栓所在地　・方書　・検針該当月　・検針員　・最新検針日 ・検針区域　・検針順路　・新設年月日　・廃止年月日　・上下水区分　・下水道番号 ・親子コード　・親水栓番号　・旧お客様番号　・特記事項　・配水系統 ・住宅地図情報　・管理図番号　・集合区分　・集合世帯数　・台帳番号 ・所有者（氏名　・郵便番号　・住所　・方書　・電話番号　・電話区分 ） ・管理者（氏名　・郵便番号　・住所　・方書　・電話番号　・電話区分 ）		
			(2) メーター情報 ・メーター番号　・口径　・型式　・メーカー名　・メーター状態　・メーター位置：3以上 ・最新検針日　・最新指針　設置業者　・設置年月日　・検満年月　・設置時指針 ・取外時指針　・検満時水量　・表示桁数 ・旧メーター番号　・旧口径　・旧型式　・旧メーカー名　・施行業者 ・メーター撤去年月日　・撤去時指針		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目		内　　容		回答欄	
				回答	備考
			(3) 使用者情報 ・開始日　・中止日　・停水執行日　・開始受付日　・中止受付日　・使用区分 ・停水解除日　・使用用途（上水・下水・統計用）　・特記事項 ・氏名　・個人コード・郵便番号　・住所（送付先住所の大字コード・本番・枝番を含む）　・方書 ・電話番号・電話区分		
			(4) 請求情報 ・支払方法　・納付組合　・口座情報（金融機関　・支店　・預貯金種目　・口座番号 ・名義人）　・送付先氏名　・郵便番号　・住所　・方書　・電話番号　・電話区分 ・使用者と送付先の関係情報		
			(5) 調定情報 ・調定年月　・検針日　・検針員　・調定区分　・請求区分 ・上水項目（使用月数・使用水量・基本料金・超過料金・消費税・合計金額　・用途） ・下水項目（使用月数・排水量　・基本料金・超過料金・消費税　・合計金額・用途）		
			(6) 収納情報 ・調定年月　・収納日　・収納方法 ・上水項目（収納金額・還付済額・未納額） ・下水項目（収納金額・還付済額・未納額）		
			(7) 異動履歴情報 ・水栓・メーター・使用者項目（異動日・異動区分・履歴・入力処理日・入力者） ・調定・収納項目（異動日・上水明細金額：変更前後・下水明細金額：変更前後・ 料金算定項目：変更前後）		
			(8) 下水道情報 ・開始日・下水道番号・用途・期間・認定水量・設定区分・処理分区・井戸有無		
			(9) 給水管理情報 ・給水管理システムで登録された画像		
			(10) メモ入力情報 ・入力日・時間・入力者・受付区分・区分・区分詳細・約束区分・約束日・対応日・時間 ・対応者・対応区分・通知区分・備考		
		②	照会処理より本市指定様式にて以下の帳票出力が可能であること。 ・納入通知書,水道使用開始届,水道使用中止届,氏名・所在地・支払変更届,督促状,給水停止予告書,給水停止通知書など ・給水停止者の転居における帳票出力が可能であること。		
		③	①－(5)及び(6)については、過去５年分の管理ができ、さらに上水に関しては、消滅時効の該当が把握できること。		
		④	①－(6)については、複数回の入金（重複・分納）や還付がある場合にもそれぞれの入金（還付）日、入金（還付）額が把握できること。		
		⑤	充当処理がおこなわれている場合は、充当元や充当先の調定年月や充当日・充当額の確認ができること。		
		⑥	納付書については、分納（一部入金）に対応していること。また、窓口・金融機関の他にコンビニエンスストアでも取り扱えるよう、バーコード(GS1-128)対応のこと。		
		⑦	コンビニ収納用のバーコードの有効期限を個人毎に自由に設定することが可能なこと。		
		⑧	再発行納付書、精算納付書作成の場合、要、不要の選択により再発行、精算の表示を印字して発行できること。		
		⑨	未納調定に対して仮消の設定が行えること。設定内容は各コンビニや支所名など数種類のパターンに対応できること。また、仮消の設定の内容により、未納請求の除外パターンを変えるなどの工夫が可能なこと。		
		⑩	納付書の再発行は期別指定からの発行機能だけでなく、発行する金額を指定する事により、古い期別から指定された金額になるまで、自動的な納付書が発行が可能なこと。		
		⑪	通常の納付書再発行のほか、納付書再発行画面にて容易に複数の調定年月の納付書を１枚にまとめて発行できること。また、コンビニエンスストアでの支払いやＯＣＲ・バーコードからの消込処理にも対応できること。（納付書には内入金表示等、該当月の全額支払いなのか一部入金なのか表示してあること）		
		⑫	使用者との入金折衝記録及び任意のコメント入力機能を有すること（1件当たりの文字数は全角５００文字まで入力でき、入力件数は無制限とする）。また、入力したコメントからの検索も可能なこと。		
		⑬	市内転居者は転居前に使用していた場所の未納情報が、現在居住しているデータの画面上で確認することができ、納付書再発行画面にて複数の未納情報に対して納付書再発行が容易に行えること。		
		⑭	同一使用者が市内で複数使用している場合、合わせて未納情報を確認することができ、同一の納付書再発行画面で納付書発行が容易に行えること。		
		⑮	検針データの取込後、調定処理前でも納付書の発行が可能なこと。また、調定前に発行した分については調定処理時に発行されないなどの工夫がされていること。		
		⑯	コンビニエンスストア収納に関連して、速報済・確報済・入金済の表示ができること。		
		⑰	表示中の使用者について、全未納額及び未納回数の表示ができること。		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項目		内容		回答欄	
				回答	備考
		⑱	使用者ごとに使用水量及び料金の変移がグラフで表示できること。		
		⑲	使用者、送付先だけでなく所有者、管理者の情報が管理できること。		
		⑳	検満メーター交換対象のデータに関して、交換期間内の場合は照会画面上で判別できること。		
		㉑	料金のシミュレーション計算ができること。		
		㉒	表示中の使用者について、受付情報、メモ情報、同一名義人、還付情報、滞納整理情報の有無が表示できること。		
		㉓	任意の使用者について、アラート機能や画面色の変更などができ、重要な情報の有無がわかりやすい画面構成であること。		
		㉔	検索・照会画面から容易に変更入力画面へと展開が可能であること。データ更新を行う上で、不具合なく処理ができること。（排他などの制御がされていること。）		
		㉕	メモ情報は、照会画面上から容易に登録・変更・削除が可能であること。また、任意の単語等により検索や抽出が可能なこと。		
		㉖	登録されたメモ情報は、スペース（空白）と改行による文章としての見易い状態で表示されること。		
		㉗	登録されたメモ情報は、登録日順や情報内容順、入力者順などに並べ替えが可能であり、メモ情報の文字数は1件あたり全角５００文字まで入力でき、登録する量に制限がないこと。		
		㉘	使用者情報とリンクしたファイリング機能として、誓約書や現地調査・メーター故障などの複数の画像を容易に登録、表示ができること。		
		㉙	画面のハードコピーなども容易に画像登録できること。		
		㉚	登録された画像は、水栓や使用者とのリンクにより検索・照会画面上で表示ができること。		
		㉛	複数登録された画像の情報に対して、登録日・画像の内容（文字情報）などを同時に管理し、画像と合わせて表示可能であること。		
		㉜	登録された画像を印刷することができ、画像と一緒に登録された内容（文字情報）も合わせて印字されることにより報告書用などに使用できる工夫がされていること。		
		㉝	検索条件の機能により、登録された画像の内容（文字情報）での該当者検索ができること。		
		㉞	個人情報開示禁止情報について、使用者情報とリンク登録が可能であり、該当使用者の検索時には誰が検索しても解る様に視覚的判断が可能な画面表示や警告される機能を有すること。（DVや暴力団等）また、表示に関しては対外的な配慮が施されていること。		
4	受付処理	①	使用開始及び中止の予約受付機能があり、受付を行った情報が検索画面に表示されること。		
		②	支払い変更及び名義変更の予約受付機能があり、受付を行った情報が検索画面に表示されること。		
		③	受付入力したデータから、当日の開始及び中止の予定の画面表示や、帳票への出力が可能なこと。		
		④	当日の開始及び中止予定の情報に、完了入力を行うことにより開閉栓業務の進捗確認が可能なこと。		
5	異動処理	①	新規登録処理		
			(1) 「上水のみ」、「上下水」、「下水のみ」の３パターンについて、新規登録処理が可能であること。		
			(2) 新規登録時、お客様番号を地区コード毎の自動付番で設定できること。		
			(3) 新規登録時、給水台帳等の番号を設定できること。		
			(4) 新規登録時、既に別水栓にて使用者情報が登録されている場合には、個人情報の複写ができること。		
			(5) 使用者が決まっている場合はそのまま開始処理、決まっていない場合は水栓情報のみ登録できること。		
			(6) 電話番号を２件登録できること。		
			(7) 市外の住所を登録する際、郵便番号（全国）からの検索ができること。		
			(8) 水栓特記、地図情報の登録ができること。		
		②	使用開始処理		
			(1) 開栓届用紙には、前回検針（中止分も含む）した日付、指針等のデータが印字されること。		
			(2) 選択した中止中（閉栓中）及び開始受付中の水栓について、開始処理及び使用者登録処理ができること。（開栓・中止の届出者も入力・修正ができること）		
			(3) 使用者登録時、既に別水栓にて使用者情報が登録されている場合には、個人情報の複写ができること。		
			(4) 使用開始にあたっては、上下水登録の水栓では下水道も連動し開始となること。		
			(5) 使用開始後の初回検針時の使用期間について、０～２ヶ月間を上水・下水それぞれ半月単位で設定できること。		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目	内　　容		回答欄	
			回答	備考
	③	使用中止（精算）処理		
		(1) 選択した使用中（開栓中）及び中止受付中の水栓について、中止処理及び最終料金の計算（精算）ができ、一連の処理で支払方法の調整ができること。		
		(2) 中止処理時にすでに当月分の定時調定が発生している場合、既に発生している定時調定分に対し変更調定と精算分とを合算して随時調定を容易に登録できること。また、定時調定と随時調定を別々に容易に登録することもできること。		
		(3) 転居（転出）先の情報が登録できること。		
		(4) 中止に伴うメーターの施工方法（止水栓、丙止、キャップ止、止不・丙無、止不・丙故、止故・丙無、止故・丙故、その他）の登録ができること。		
		(5) 使用中止にあたっては、上下水登録の水栓では下水道も連動し中止となること。		
		(6) メーター交換時の交換水量があった場合、交換水量が閉栓届用紙に印字されること。		
	④	メーター交換処理		
		(1) 交換時の水量を自動算出し、次回の検針時に加算さえるような仕組みになっていること。		
		(2) 市管理用のメーターと市管理外のメーターとの管理ができること。この項目により、検満該当の制御も可能とする。		
		(3) メーターの使用可能状況が管理できること。		
		(4) メーターの回転数が管理できること。メーターの桁数が4桁の場合、指針:9999→1になった時点で回転数１とする。		
		(5) 口径の変更の場合、交換前の口径と交換後の口径で使用日数によりそれぞれの口径ごとの料金算出を行い、合算したものを料金計算結果として管理できること。		
	⑤	下水道変更処理		
		(1) 下水の使用の種類として、上水使用量＝排水量の他に、定額井戸、検針井戸の管理ができること。		
		(2) 検針井戸に関して、下水メーターへの検針が可能なこと。上水の検針と同様の扱いとする。		
		(3) 排水量を算出するときに、上水使用料からの按分を行い排水量を算出を行うための管理項目として、係数・按分率の管理ができること。検針時にはこの管理項目によって計算が行われること。		
		(4) 下水区域の管理ができること。		
		(5) 下水料金の修正用の処理画面として、排水量変更処理が別で設定できること。		
		(6) 上記内容に附随し、下水用の各処理、各資料をまとめた下水用メニューが設定できること。		
	⑥	分受水管理処理		
		(1) 近隣水道事業への分水・受水を行うデータ管理が可能なこと。分水・受水の種類、水栓の情報、料金月数、口径などの項目が管理できること。		
		(2) 上記項目で管理された内容により、受けた水量に対して、料金計算が行えること。		
	⑦	給水停止及び給水停止解除処理		
		(1) 選択した使用中(開栓中)の使用者について、給水停止及び解除の処理ができること。なお、解除にあたっては、それまでの滞納状況を引継ぐこと。		
		(2) 給水停止中でも調定（納付書）ができること。		
	⑧	支払方法変更処理		
		(1) 選択した使用者について、支払方法及び郵送先の変更ができること。 （ 現金・口座・金融機関・口座番号・郵送先氏名・郵便番号・住所・検針票への領収金額表示可否等）		
		(2) 口座情報変更の際、他水栓で同一金融機関情報が存在するかのチェックができること。		
		(3) 口座情報変更の予定登録ができること。		
		(4) 過去に登録されていたことのある金融機関・口座情報を検索することができ、その情報を現在の支払情報として反映することができる。		
	⑨	名義変更処理		
		(1) 中止・開始に依らず、所有者、管理者、使用者及び送付先の氏名・住所等の名義変更ができること。		
	⑩	検針データ修正処理		
		(1) 選択した使用者について、当月検針したデータに不備があった場合（検針誤謬）、指針・水量・金額等の修正及び追加ができること。また、検針票の再発行（Ａ４様式）もできること。		
	⑪	調定変更処理		
		(1) 選択した使用者について、調定の修正及び追加ができること。		

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目	内　　容		回答欄	
			回答	備考
	⑫	漏水管理処理		
		(1) 検針の結果の情報に対して、漏水設定、漏水の修理済み設定、漏水修理日、修理工事店の管理が行えること。		
		(2) 漏水設定された調定に対し、請求前なのか、充当の予定なのかの管理ができること。		
		(3) 漏水設定された情報に関し、各種資料が出力可能なこと。		
	⑬	還付処理		
		(1) 選択した使用者について、過誤納入状態の調定がある場合に、還付及び他期別調定への充当処理が上水・下水それぞれにできること。		
	⑭	その他修正処理		
		(1) 前出の①～⑬の他、水栓・使用者・メーター・請求・調定・収納・履歴・下水道の各情報について、管理項目の修正入力が可能であること。修正内容に関しては変更前情報を履歴として管理できること。		
		(2) 入力コードに対応する各種名称ファイルについて、追加・修正・削除ができること。		
	⑮	入力チェック処理		
		(1) 異動・変更処理で入力されたデータのチェックリストの出力が可能なこと。		
		(2) チェックリストの出力は、日付や担当者などの抽出条件の指定や出力順の指定が可能なこと。		

システム内容（水道料金システム各種機能）に関する事項

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項目		内容		回答欄	
				回答	備考
検針管理					
1	端末処理	①	検針員毎に検針担当地区のスケジュール表が出力できること。		
		②	①で作成したスケジュールを利用して、検針員・検針地区ごとに検針データの作成処理がおこなえること。		
		③	検針該当水栓のデータを市指定のレイアウト及び媒体に作成できること。		
		④	必要に応じて、検針員・検針地区毎の順路一覧表を出力できること。		
		⑤	検針順路の並べ替えがドラッグアンドドロップ等で可能なこと。また、変更前と変更後の順路を確認することのできるチェックリストも出力できること。		
		⑥	水道使用者へ任意の広報用メッセージが入力できること。		
		⑦	ハンディーターミナルより指針入力後のデータ（媒体）を端末側へ転送・更新できること。		
		⑧	検針員毎に使用水量の過多・過少、漏水疑義、認定検針、中止中かつ使用水量ありなど調査対象水栓のチェックリストが出力できること。		
		⑨	過多・過少、漏水疑義、認定検針、中止中かつ使用水量ありなど調査対象になったデータは、過去にさかのぼって画面から確認することができること。		
		⑩	検針中に異動処理がおこなわれたり、料金算定項目の変更があったデータのチェックがおこなえること。		
		⑪	検針員毎に未検針水栓のチェックリストが出力できること。また、全地区一括でも未検針水栓のチェックリストが出力できること。		
		⑫	ハンディーターミナルでの検針前後に料金の計算根拠（指針・口径・用途・使用状況・漏水設定など）に変更があった場合に、調査対象水栓のチェックリストが出力できること。		
		⑬	検針委託料計算のため、検針員毎の検針実績集計表が参考として出力できること。		
2	ハンディーターミナル	①	メーター指針の入力、料金計算（自動計算）、検針票出力の3段階で簡易に操作が行えること。また入力情報の訂正、検針票の出し直しができること。		
		②	親子メーターの検針が行えること。		
		③	メモリーカードを標準装備し、万一の故障等に際し、データの復旧等の対応が迅速に行えること。		
		④	地下水使用の場合、世帯人数より汚水排水量の算定ができること。		
		⑤	水道水と地下水を使用の場合、地区ごとに汚水排水量の算定方法の変更が可能であること。		
		⑥	水栓各々に登録されている検針用のメッセージがハンディーターミナルで表示できること。また、あらかじめ登録された検針期間以外で検針した場合にもメッセージが表示されること。		
		⑦	お客様番号、メーター番号、未検針水栓など、３種以上の検索条件を備えていること。		
		⑧	検針順路の変更が容易にでき、また元の順路への復帰も可能であること。		
		⑨	メーターが確認できず、検針できない場合は、認定事由、認定水量が入力でき、端末側へ転送後、チェックリストが出力されること。		
		⑩	上水・下水ともに複数の料金体系及び単価による計算処理が可能であること。		
		⑪	過去分と前年同月の検針時の水量が画面で確認できること。また、参考として過去の検針の平均使用水量が画面で確認できること。		
		⑫	検針時に前回指針との指針差より使用水量を計算し、今回料金の計算ができること。また、メーター回転及びメーター交換があった場合も自動計算ができること。		
		⑬	下水排水量は原則的に上水使用水量とし、上水メーター水量への加算・減算、下水メーター等の特殊計算への対応ができること。		
		⑭	中途の開始及び下水開始に伴い、月数を自動的に判定できること。		
		⑮	指針入力後は即時「使用水量のお知らせ」（以下「検針票」という。）が発行できること。用紙は79㎜幅の専用感熱紙とし、検針日付、使用期間、使用者氏名、所在地、指針、水量、概算金額、納入期限（振替予定日）の他に前回分の口座振替済通知が出力できること。また、再発行もできること。		
		⑯	中止中水栓への検針機能があること。		
		⑰	漏水発見、未検針（認定）等の際にその理由を入力する機能があること。		
		⑱	使用水量の妥当性が判断でき（異常水量）、警告メッセージや警告音で検針員へ通知する機能があること。その判断基準は管理者により任意に設定できること。		
		⑲	検針票に使用者に対する任意のメッセージ出力ができること。（20文字）		
		⑳	メーター位置情報の画面表示、変更ができること。		
		㉑	万一の盗難・不正使用に備え、ハンディーターミナルの操作にあたっては、パスワードその他個人認証を行う強固な機能を有していること。（内部データは暗号化されていること）		
		㉒	検針中の機器故障を考慮して、検針済データはジャーナル印刷により、紙媒体にも出力されること。		

システム内容（水道料金システム各種機能）に関する事項

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目		内　　容		回答欄	
				回答	備考
調定管理					
1	端末処理	①	調定漏れ（未調定）があった場合の確認リストを出力できること。		
		②	料金計算時、途中開始及び途中中止による月割計算（0.5ヶ月、1.0ヶ月、1.5ヶ月、2.0ヶ月）や未調定などの特殊計算ができること。		
		③	同一使用者について、同一調定年月に複数の調定（定例分・精算分）を制限無く発生させることができること。		
		④	井戸単独使用など、検針対象外の水栓について、料金の自動計算機能があること。また、計算チェックリストを出力可能なこと。		
		⑤	親メーターの水量と対応する子メーターの合算水量との間に一定以上の差が生じた場合に、親メーター（水栓）または親子の差（仮水栓）への料金賦課ができること。また、計算したチェックリストの出力も可能なこと。		
		⑥	口座振替依頼にあたっては、当月分及び前月再振替分の他に、使用者の要望による過去分（随時請求分）も振替依頼が可能であること。		
		⑦	口座振替依頼にあたっては、当月分及び前月再振替でなくとも、支払が口座、且つ未納調定があれば、任意に口座振替依頼に加えることができること。また、金額を指定した一部請求も行えること。		
		⑧	口座依頼データ作成時に前月再振替分・随時請求分の振替依頼一覧表を出力することができる。また、口座消込処理時に振替結果の一覧表出力も可能なこと。		
		⑨	口座振替は定例分と再振分の依頼が行えること。データ伝送（ファームバンキング）を基本とし、依頼媒体の場合は別々のものを使用できること。		
		⑩	各種調定資料において、必要に応じて上水道事業、下水道事業を分けて資料の作成が行えること。		
		⑪	納付書及び督促状、メーター交換のお知らせついては郵便カスタマバーコードを出力し、郵送代削減が行なえること。		
		⑫	料金早見表の代わりに、簡易料金計算が行えること。また、個人毎の情報画面でも計算が容易にできること。		
		⑬	納入通知書、督促状、催告書は、電算処理受託（別途契約）により発行され、データを固めた翌営業日に納品されること。		
		⑭	納入通知書、督促状、催告書に郵便カスタマバーコードを出力できること。		
		⑮	納入通知書等には、消込処理及びコンビニエンスストアにて使用するバーコード（GS1-128）及びＯＣＲの読み込み項目出力が可能であること。		

システム内容（水道料金システム各種機能）に関する事項

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目		内　　容		回答欄	
				回答	備考
収納管理					
1	共　通	①	入金区分別（現金・口座・コンビニ）、調定年月別、収納日別ごとに収納額を集計した集計表が、日計・月計の単位で随時出力できること。		
		②	消込処理時に正常消込できなかったデータ（重複納入・過誤納付・内入金）のチェックリストが出力可能なこと。		
		③	過誤納付者または内入金（分納）により、完納になっていないデータのリストの打ち出し及び、ＣＳＶデータへの出力が随時できること。		
		④	収納日（会計上の入金日）の他に消込処理を行った日（処理日）、口座振替については、口座振替日も管理できること。		
		⑤	分納・内入金など、１つの調定に対して入金が複数回の場合も、それぞれの入金情報（日付・金額・入金方法）が管理できること。また、納入回数に制約のないこと。		
		⑥	本消しまでの未納制御を行うことが出来ること。また、仮消しの確認用のリストが出力されること。		
		⑦	各種収納資料において、必要に応じて上水道事業、下水道事業を分けて資料の作成が行えること。		
		⑧	スマホアプリの稼動実績を有し、対応が可能なこと。		
2	現金分消込処理	①	窓口収納分の納入済通知書をバーコードリーダー又はＯＣＲ等により一括して読み取り、消込処理ができること。また、仮消込機能も有していること。		
		②	納入済通知書の重複読込についてメッセージ表示を行うなど、操作ミスを防ぐ機能を有していること。		
		③	手入力操作によるバーコードの読込みも可能なこと。		
		④	OCRによる仮消込処理が可能なこと。		
3	コンビニエンスストア分消込処理	①	コンビニエンスストア（収納代行会社）から受信した速報データにより、仮消込処理ができること。		
		②	仮消込した使用者情報では、コンビニエンスストアの社名、店舗での支払日、金額が画面表示できること。		
		③	確報データの受信後、企業会計上での入金が確認されるまでの間は退避しておき、入金確認後に一括して消込処理を行うことができること。		
		④	上記速報データ及び確報データは、各処理後に退避（累積）できること。		
		⑤	速報データ受信及び仮消込処理後に取消データを受信した場合に対応ができること。		
4	口座振替分消込処理	①	金融機関とのデータ交換は、データ伝送（ファームバンキング）を基本とし、データ交換媒体の形式はＤＯＳ／ＩＢＭ形式のどちらでも対応可能であること。		
		②	口座振替日の他に金融機関毎の収納日を設定でき、かつ金融機関毎及び全金融機関一括の消込処理が可能であること。		
		③	消込処理前に金融機関ごとに入金日・振替日・振替件数・振替金額が確認できるようになっていること。		
		④	金融機関別・金融機関支店別に統計資料が作成できること。		
		⑤	消込処理後、振替成功者には、次回検針時に振替済お知らせが検針票に反映、振替不能者には、再振替通知書や納入通知書の発行ができること。		
		⑥	上記⑤のシーラー様式については、納入会社のデータセンターの電算処理にて対応が可能であること。		
		⑦	口座振替は定例分と再振分で引き落とされた口座振替の結果が収納管理できること。		
		⑧	上水道・下水道での口座消込が出来ること。		
		⑨	口座振替データは固定長であること。（公振くん対応が可能であること）		
		⑩	将来的に口座振替の割引制度の対応が出来ること。また、集計及び帳票出力が可能なこと。		
		⑪	口座消込は、金融機関別に行えること。		
5	クレジット収納	①	クレジットカードによる収納がいつからでも対応が可能である様にソフトウェアを有しておき、将来的に運用開始時には、運用テスト等の経費のみで対応出来るようにしておくこと。		
		②	クレジット収納の稼動実績を有し、将来的に対応が可能なこと。		

システム内容（水道料金システム各種機能）に関する事項

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項目		内容		回答欄	
				回答	備考
未納管理					
1	未納管理	①	任意の抽出条件設定により、未納者リストの打ち出し及びＣＳＶデータへの出力が随時でできること（お客様番号・調定年月・期間指定・未納金額指定・未納回数指定・地区指定・口径指定）。		
		②	納付書、督促状、催告書などの一括出力後、郵送までの間に発生した収納に関して引き抜き用の一覧表を発行できること。		
		③	各種未納資料において、必要に応じて上水道、下水道、農業集落排水事業を分けて資料の作成が行えること。		
		④	督促状の該当者の作成、督促状の出力が可能なこと。出力情報は一覧表、CSVでの出力が可能なこと。		
		⑤	催告書該当者の作成、督促状の出力が可能なこと。催告書の出力に関しては、出力の範囲を任意で指定し出力が可能なこと。		
		⑥	給水停止予告該当者の作成、給水停止予告書の出力が可能なこと。出力情報は一覧表、CSVでの出力が可能なこと。		
		⑦	給水停止執行該当者の作成、給水停止執行書の出力が可能なこと。出力情報は一覧表、CSVでの出力が可能なこと。		
2	給水停止	①	給水停止対象者に対して給水停止通知書が個別で出力できること。		
		②	給水停止通知書の発行履歴が残ること。また、発行一覧表が出力可能なこと。		
		③	給水停止対象者の未納明細書が出力できること。		
3	滞納整理	①	任意の使用者について、滞納整理記録（入金折衝記録）の内容・履歴の入力が件数の制限なく可能であること。また、照会画面にて随時確認できること。		
		②	任意の使用者について、支払予定日の管理を行うことができ、支払予定日の日は使用者が予定通りに水道料金の支払を行ったかどうかの確認が、画面および帳票で確認できること。		
		③	分納誓約者の支払計画に対して、支払回数・支払金額・支払期限の指定入力を行う事ができ、計画にあった納付書の発行が可能なこと。また、発行した納付書はコンビニエンスストでの支払が可能なこと。		
		④	分納誓約者の支払計画に対して使用者と支払計画の試算や作成、相談が出来る様に、グラフ表示などで解り易いシミュレーションや計画作成などが容易に出来ること。また、支払計画シミュレーション時の画面印刷等を分納者に提示できること。		
		⑤	分納誓約者の支払計画に対して、計画どおりに水道料金の支払がおこなわれているか、画面および帳票で確認できること。		
		⑥	上記③を基に集金予定表（滞納整理予定表）の出力ができること。		
		⑦	未納金額・収納金額の明細や訪問時の記録等を、個人別滞納整理記録簿として出力できること。		
		⑧	水栓場所に現住していない使用者について、現住所の管理が可能であること。中止後の転居先についても同様とする。		
4	不納欠損	①	上下水別々の不納欠損が可能であり、不納欠損するタイミングも上下水別々に行うことが可能なこと。（上水は２年で欠損、下水は５年で欠損など）		
		②	不納欠損するデータは、欠損対象期間に関わらず任意でデータ追加することも可能なこと。同様に、欠損対象期間のデータを欠損対象から除外することも可能なこと。		
		③	不納欠損の対象データをお客様番号別・調定年月別に出力した一覧表出力、及びＣＳＶデータへの出力が随時できること。		
		④	不納欠損になった調定に対して入金があった場合、消込処理前にアラーム表示されるなどの制御がおこなわれていること。		
		⑤	不納欠損になった調定に対して入金があった場合、欠損した調定に対しても消込を行うことが可能なこと。		
		⑥	不納欠損処理後にも不納欠損前の未納額を簿外資産として管理し、システム画面より確認することが可能であり、一覧表への出力も可能なこと。		

システム内容（水道料金システム各種機能）に関する事項

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目		内　　容		回答欄	
				回答	備考
メーター管理					
1	端末処理	①	メーター区分ごとの検定満期の帳票打ち出しできること。		
		②	交換年度別・口径別に水栓戸数（メーター設置戸数）集計が随時出力できること。		
		③	検定満期該当の一覧表（検定満期メーター取替一覧表）が出力できること。		
		④	検定満期時の大量交換を行った場合には、交換データ（新メーター番号、交換時水量）の入力を委託することも可能なこと。		
		⑤	検定満期時の大量交換を行った取り外し指針の入力後のチェックリストが出力できること。		
		⑥	同じメーター番号で開閉栓を繰り返しできること。		
		⑦	メーター交換時に指針の桁数が変更しても対応できること。		
		⑧	メーター交換のお知らせついては郵便カスタマバーコードを出力し、郵送代削減が行なえること。		
		⑨	検定満期時の交換を行った取り外しメーターの指針を写真撮影した画像データのファイリング機能として、お客様情報と容易にリンクし登録、表示ができること。		
月次管理					
1	月次資料	①	当月に収納された収納額を入金区分別（現金・口座・コンビニ）、調定年月別、収納日別に集計して出力することが可能なこと。		
		②	当月に調定の増減（更正）があったデータの一覧表を出力することが可能なこと。		
		③	当月に調定の増減（更正）のあったデータを調定年月別に集計し、金額の増減および、件数の発生・削除を出力することが可能なこと。		
		④	還付したデータのリストの打ち出し及び、ＣＳＶデータへの出力が随時できること。		
		⑤	充当したデータのリストの打ち出し及び、ＣＳＶデータへの出力が随時できること。		
		⑥	調定年度＞調定年月ごとに、調定／収納／未納の件数・金額および収納率の集計出力が行えること。また、過去の時点に遡って集計結果を把握することが可能なこと。		
		⑦	過年度分の調定／収納／未納の集計については、滞納繰越額を調定額とし、当年度の４月１日以降に収納された額を収納額にして集計を行うこと。		

システム内容（給水受付システム機能）に関する事項

○：標準機能で可能　△：カスタマイズ　×：対応不可

項　　目		内　　容		回答欄	
				回答	備考
給水受付システム					
1	起動	①	給水受付業務が行えるシステムであること。		
		②	ユーザー・パスワード入力等により、システム操作のセキュリティが確保されていること。		
		③	ユーザー別での処理権限の設定ができること。		
2	検索処理	①	検索条件は、お客様番号・水栓所在地・所有者氏名・受付日などの多様な条件指定が可能であること。		
		②	氏名等の文字列に関する"あいまい検索"に対応していること。		
		③	検索結果の並び替えができること。		
3	データ	①	現在のデータ（給水受付データ）をすべて移行すること。		
		②	データ①基本情報 本市給水工事受付の基本情報に必要な項目を管理すること。 設置場所・地番・建物情報（階数・給水状況・附随施設等）・所有者情報・使用者情報 （お客様番号・住所・所有者情報・使用者情報：自社水道料金システムと連携が可能なこと）		
		③	データ②受水槽管理 本市受水槽に係わる情報の管理をすること。		
		④	データ③業者管理 指定給水装置工事事業者に係わる情報の管理をすること。		
		⑤	基本テーブルのメンテナンスが安全かつ簡単にできること。		
4	受付管理	①	導入当初年度から、過去の登録済みデータの検索が可能であること。		
		②	受水槽情報 受水槽の詳細な管理が行え、帳票出力が可能であること。		
		③	お客様番号の入力により、水道料金システムからデータを抽出してデータ作成を行うことができること。		
		④	集計帳票：受水槽・高架水槽一覧表・集計表 入力データより受水槽管理のための帳票の抽出が可能なこと		
		⑤	集計帳票：直結給水一覧表・集計表・建物階数集計表 入力データより直結給水に関する管理のための帳票の抽出が可能なこと。		
		⑥	集計帳票：指定給水装置工事事業者一覧表 入力データより指定給水装置工事事業者の管理のための帳票の抽出が可能なこと		
		⑦	水道料金システムが管理する「工務管理メニュー」でのPGの動作が実施できること		
		⑧	受付入力上必要な個人情報の新規追加が発生した場合、水道料金システムと連携しての個人情報の登録がスムーズにできること。		
他システムとの連携について					
5	他システム連携	①	使用者情報を水道料金システムから受け取ることが可能であること。		
		②	個人情報について水道料金システムとの整合性を取る仕組みがあること。		

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
出力帳票					
1	検索処理	届 書 他	①	納入通知書	
			②	水道使用開始届	
			③	水道使用中止届	
			④	水道使用証明書	
			⑤	水道使用料納入済証明書	
			⑥	氏名・所在地・支払変更届	
			⑦	送付書	
			⑧	漏水減免申請書（白紙）	
			⑨	漏水認定決定通知書（白紙）	
			⑩	再検針調査票	
			⑪	誓約書	
			⑫	中止精算時滞納のお知らせ	
			⑬	水道メーター亡失・破損届書	
			⑭	水道料金等分割納入申請書	
			⑮	未納調査票	
			⑯	停水予告通知	
			⑰	訪問カード	
			⑱	給水停止執行書	
2	プルーフ管理	異動処理	①	新設プルーフリスト	
			②	新開プルーフリスト	
			③	開栓プルーフリスト	
			④	休止プルーフリスト	
			⑤	メータ撤去プルーフリスト	
			⑥	施設撤去プルーフリスト	
			⑦	給水停止プルーフリスト	
			⑧	給水停止解除プルーフリスト	
2	プルーフ管理	変更処理	①	支払変更プルーフリスト	
			②	氏名変更プルーフリスト	
			③	所有者変更プルーフリスト	
			④	メータ交換プルーフリスト	
			⑤	使用量変更プルーフリスト	
			⑥	所在地変更プルーフリスト	
			⑦	管理人変更プルーフリスト	
			⑧	使用者変更プルーフリスト	
			⑨	下水道変更プルーフリスト	
			⑩	検針順路変更プルーフリスト	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
2	プルーフ管理	料金更正処理	①	調定変更プルーフリスト	
			②	収納変更プルーフリスト	
			③	還付入力プルーフリスト	
			④	簿外資産変更プルーフリスト	
			⑤	簿外入金プルーフリスト	
		受付プルーフ	①	受付プルーフリスト	
3	検針管理		①	検針スケジュール一覧表	
			②	検針順路一覧表	
			③	検針プルーフリスト	
			④	検針チェックリスト	
			⑤	検針員別集計表	
			⑥	付加エラーリスト	
			⑦	未検針チェックリスト	
			⑧	持ち帰り検針票一括発行	
			⑨	未検針チェックリスト	
			⑩	使用水量リスト	
			⑪	検針委託手数料集計表	
			⑫	検針件数集計表	
			⑬	検針アラームリスト	
			⑭	お知らせ端末再発行	
			⑮	検針順路変更リスト	
			⑯	漏水減免確認表	
			⑰	漏水減免一覧表	
			⑱	漏水減免集計表	
			⑲	減免申請書	
			⑳	漏水該当率集計表	
			㉑	月分漏水該当一覧表（全件）	
			㉒	月分漏水該当一覧表	
			㉓	月分漏水修理済一覧表	
			㉔	月分漏水修理済一覧表（全件）	
			㉕	HHT漏水解除者一覧表	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
4	調定管理		①	水道料金調定表	
			②	親子計算チェックリスト	
			③	納入通知書	
			④	納入通知書出力一覧表	
			⑤	口座振替依頼一覧表（銀行別）	
			⑥	銀行別口座振替依頼状況	
			⑦	支店別口座振替状況	
			⑧	送付先ダブリリスト	
			⑨	口座随時請求者一覧表	
			⑩	随時請求確認リスト	
			⑪	収納報告書	
			⑫	口座依頼集計表	
			⑬	調定納入区分別調べ	
			⑭	下水区分未設定一覧表	
		月末処理	①	マスターチェックリスト	
			②	徴収実績表	
			③	徴収実績表（年月別）	
			④	下水使用量徴収実績表	
			⑤	下水用途別徴収実績表	
			⑥	集金分納付書地区別内訳リスト	
			⑦	従量料金集計内訳明細表	
			⑧	給水区域別使用水量集計表	
			⑨	区域外給水者リスト	
			⑩	分水受水量調（みどり市）	
			⑪	月間大口使用者リスト	
			⑫	納入区分別調定額集計表	
			⑬	口径別・使用水量段階別集計表	
			⑭	口径エラーリスト	
			⑮	用途別水道使用水量状況表	
			⑯	水道料金調定明細集計表	
			⑰	納入区分別調定額集計表（下水）	
			⑱	特殊メータ内訳表	
			⑲	月間下水多量排出者一覧表	
			⑳	下水道使用料一覧表	
			㉑	下水処理施設別集計表	
			㉒	水道料金調定明細集計表	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
5	収納管理		①	入金リスト	
			②	消込エラーリスト	
			③	消込集計表	
			④	日次収入日計表	
			⑤	当日納付一覧表	
			⑥	充当還付伺書	
			⑦	入金依頼票	
			⑧	口座振替結果集計表	
			⑨	口座振替不能者一覧表	
			⑩	中止分口座振替不能者一覧表	
			⑪	口座振替結果集計表（銀行別）	
			⑫	口座振替不能者集計表	
			⑬	口座振替通知書	
			⑭	口座振替通知書発付一覧	
			⑮	口座再振替通知書	
			⑯	口座再振替通知書発付一覧	
			⑰	CVSデータリスト	
			⑱	CVS集計表	
			⑲	CVS入金リスト	
			⑳	CVS消込集計表	
			㉑	CVS消込エラーリスト	
			㉒	CVS収納時間帯集計表	
			㉓	CVS別集計表	
			㉔	仮消込入金リスト	
			㉕	金融機関別口座振替集計表	
			㉖	口座振替結果集計表	
			㉗	随時請求振替結果一覧表	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
6	未納管理		①	未納者リスト（年月別）	
			②	未納者リスト（客番順）	
			③	給水停止届	
			④	給水停止予告書	
			⑤	給水停止通知書	
			⑥	督促状	
			⑦	督促状発付一覧	
			⑧	催告書	
			⑨	催告書発付一覧	
			⑩	中止分未納者リスト（客番順）	
			⑪	中止分未納者リスト（年月順）	
			⑫	長期高額未納者リスト	
			⑬	催告分客番範囲リスト	
			⑭	催告該当者一覧表	
			⑮	給水停止予告者個人別内訳表	
			⑯	停水予告納入区分別集計表	
			⑰	訪問カード	
			⑱	給水停止執行予定者一覧表	
			⑲	停水予告納入区分別集計表	
			⑳	停水処分者一覧表	
7	滞納整理業務		①	滞納誓約一覧表	
			②	納入予定チェックリスト	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
8	量水器管理		①	メーター交換のお知らせ	
			②	メーター交換のお知らせ発行一覧表	
			③	検満対象集計表	
			④	甲乙地区別口径別件数表	
			⑤	検満メータ取替明細	
			⑥	検満データ集計表	
			⑦	メータ取替一覧表	
			⑧	メータ取替明細	
			⑨	検満データ取替一覧表	
			⑩	新規メータ情報設定リスト	
			⑪	検満付加データチェックリスト	
			⑫	ダブリメータチェックリスト	
			⑬	検満付加エラーリスト	
			⑭	検満取外指針読合リスト	
			⑮	口径別メータ設置個数集計表	
			⑯	市管理外メーター覧	
			⑰	市管理外メータリスト	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
9	統計管理		①	口座新規変更一覧表	
			②	水道使用開始届等取扱件数調	
			③	使用水量0ｔリスト	
			④	口径用途別水量段階別集計表	
			⑤	用途用水別集計表	
			⑥	口座振替手数料支払明細書	
			⑦	支店別口座振替手数料支払明細書	
			⑧	水道料金収納状況	
			⑨	調定年度別収入月計表	
			⑩	給水停止一覧表	
			⑪	下水段階別統計表	
			⑫	口径別排水量段階別集計表	
			⑬	町会別排水量集計表	
			⑭	入金区分別集計表	
			⑮	入金区分別特別データ一覧表	
			⑯	入金区分別調定別集計表	
			⑰	メータ状態一覧表	
			⑱	検針別送一覧表	
			⑲	下水区域統計用用途別集計表	
			⑳	大口使用者リスト	
			㉑	大口使用者リスト（年度別）	
			㉒	大口使用者リスト（用途別）	
			㉓	前年同期水量リスト	
			㉔	送付保留一覧表	
			㉕	用途別前年同期水量集計表	
			㉖	金融機関別口座振替状況	
			㉗	金融機関別振替手数料調	
			㉘	休止中一覧表	
			㉙	最新検針日チェック	
			㉚	指定期間超過リスト	
			㉛	調定消費税計算書	
			㉜	調定消費税明細書	
			㉝	収納消費税計算書	
			㉞	収納消費税明細書	
			㉟	調定更正消費税明細書	

項　　目		処　理　名	帳　票　名		備考
10	決算管理	（月次処理）	①	調定増減一覧表	
			②	調定増減集計表	
			③	過誤納者リスト（客番順）	
			④	過誤納者リスト（年月順）	
			⑤	コンビニ月計表（収納日）	
			⑥	コンビニ月計表（作成日）	
			⑦	コンビニ別収納月計表	
			⑧	収納状況内訳表	
			⑨	入金日別収入月計表	
			⑩	入金区分別収入月計表	
			⑪	調定年度別収入月計表	
			⑫	収入内訳表	
			⑬	水道事業収入現況内訳表	
		（不納欠損処理）	①	簿外資産台帳	
			②	簿外資産入金リスト	
			③	不納欠損エラー一覧表	
			④	収入欠損決定書	
			⑤	収入欠損決定書（合計）	
			⑥	収入欠損決定書（調定年月）	
			⑦	収入欠損集計表	
11	その他	下水管理	①	下水道一覧表	
		工務管理	①	給水区域設定リスト	
			②	給水区域別有収水量集計表	
			③	給水管設定リスト	
			④	給水管 管種・口径別集計表	
			⑤	新設該当リスト	
			⑥	建物番号同住所リスト	